

2017 年度 第 1 回「デジタル公民館まっさき」活動 7 月活動報告

2017 年 7 月 29 日(土)～7 月 30 日(日)

1.活動スタッフ参加者

参加者: 10名(内訳)			
男性	6名	アソシエイト層(～34歳)	0名
女性	4名	リーダー層(35～49歳)	8名
		シニア層(50歳～)	2名

2.活動場所

ハネウェル居場所ハウス

岩手県大船渡市末崎町字平林 54-1 TEL : 0192-47-4049

末崎地区公民館(ふるさとセンター)

岩手県大船渡市末崎町字平林 81 TEL : 0192-29-2955

3.活動スケジュール

7月29日(土)

7:04		7:16		7:30		9:10		9:30		車移動
第1便 はやて351号	東京駅発	第2便 はやて111号	東京駅発	第1便 はやて 351号	大宮発	第1便 一ノ関 着	第2便 一ノ関 着			居場所ハウスへ (約2時間)
11:30		車移動		13:00	17:00	車移動				
昼食	賛助会ご入会手 続き	ふるさとセン ターへ	(約5分)	「7月PC教室」 に参加	片付け	海さんぽへ移動	(約10分)	夕食・懇談	就寝	

7月30日(日)

				車移動		9:00		12:00
起床	早朝散歩 (参加自由)	朝食	海さんぽを出発	居場所ハウスへ (約10分)		「夏休み竹トン ボ	教室」のお手 伝い	昼食
13:00～16:00	車移動			18:37		20:47	21:12	
現地要請に応え る	要請なければ近 隣視察	一ノ関へ	(約2時間)	やまびこ54号	一ノ関発	大宮着	東京駅着	東京駅解散

今回のデジタル公民館まっさき活動は、これまでの KK² 企画型から地元主催型の地元からの要請に基づく初めての試みでした。

PC 教室は、IT ボランティアによるよろず相談の地元の方々による月次行事へ、竹トンボ教室は、居場所ハウスでのものづくり教室へと進化しました。

地域の活性化のために地域の方々が行うコミュニティづくりの過程に寄り添い、拝見し、学びたいの思いと、あくまでも要請にお応えして、できること、なすべきことを担ってゆくことを主眼として伺いました。

4.7 月 29 日(土)活動概要

13:30-16:00

「7 月 PC 教室」に参加

場所：末崎地区公民館(ふるさとセンター) 2 階会議室

現地参加者	5名
現地講師	2名
現地見学者	2名
スタッフ参加者	10名





まっさき公民館で実施された「デジタル公民館まっさき」の活動にオブザーバー参加

主な相談内容は、スマートフォン（らくらくフォン、アンドロイド携帯）での Face book および Messenger の設定と、利用の方法。パソコン環境での Face book の利用の説明。デジカメから直接写真を Face book へ投稿する方法。PC 動作遅延状況の解決方法など。

終了後は「振り返り」の時間設け、地元主催型の PC 教室の運用について確認しました。

概要は以下の通りです。

開催日時：毎月第二土曜日（当初は日曜日開催にて検討したが土曜開催が定着した）

* KK²の活動が土日開催なので人が集まりにくいとして（水）開催案が地元から出されていましたが、地元の方が検討したところ、（日）開催となったとのことです。H29/3～毎月開催中

開催場所：ふるさとセンター従来は机をコの字にレイアウトしていたが、教室形式に変更。

参 加 者：60歳前後の方8名～10名/回（まっさき地区以外の地区から2名程度参加）新規参加者4～5名、PC 所持者

会 費：¥200-/人

体 制：指導者2名体制（他に修理受付窓口として1名）

指導内容：face book 及び word

Word を指導できるのは1名に限定され一人が教わっている間、次の人が待っている等、指導者数が不足している。

教室運営：受付で氏名と学習目的を記入（但し、カルテのような学習履歴は作成・管理していない）

同一テーマを指導者が全員に解説する教室形式と、一人一人のニーズに個別対応する KK²方式にて運営しているが、個別対応では一人に対する指導が終わるのを他の人が待つことになり指導者数が足りない

今回の PC 教室は、月次の PC 教室同様、face book 等来場者の目的が受付簿に記入され、これに基づき KK²スタッフが対応しました。

今後は60歳前後の講師を募集し、同年代での教え合い、学びあいを促進すること、学校と連携して、統合化する中学校の生徒達や小学校とも連携して子ども達にも訴求することなど今後の「PC 教室」の将来展望について意見交換がなされました。

5.7月30日(日)活動概要

9:00-12:00

「夏休み親子ものづくり教室」のお手伝い

場所：ハネウエル居場所ハウス

現地参加者	10名
	(親子5組)
現地講師	6名
スタッフ参加者	9名





居場所ハウスにてどこ竹 in まっさきグループ主催「夏休み親子ものづくり教室」にお手伝い参加

竹とんぼ、竹細工(カブトムシ、クワガタ)、におい袋の作成。

「夏休み親子ものづくり教室」は、12月の「ミニ門松作り」と共に、どこ竹まっさきチーム主催の行事として定着してきています。定刻には既にメンバ全員が揃い、居場所ハウスの庭には黄緑色の「竹とんぼ教室」の幟が立てかけられ、室内の作業机の上には、竹とんぼ 作り等の材料と工具が用意されていました。

開場間もなく両親又はお母さんに連れられて子ども達が集まってきます。竹トンボの羽材の重心に錐で穴を開け、蠟燭の炎で炙り、温まって柔らかくなった羽材に力を加えて振じります。お父さん、お母さんでさえ、竹も錐も蠟燭もそれ程馴染みのあるものではありません。親も子どもも真剣です。でき上がった竹トンボはさっそく、居場所ハウスの庭で飛ばします。親も子どもも歓声です。どこ竹まっさきチームのリーダーの皆さんはご自分のお孫さんを見るように目を細めています。まさに「竹トンボ教室」の設計者が思い描いた風景が再現されていたのではないのでしょうか。

13:00-16:00

近隣視察

- ・アバッセたかた
- ・キャッセン大船渡
- ・大船渡市立博物館

おおふなと震災復興遺跡発掘資料展

東日本大震災後、被災家屋等の再建に伴い、5年間にわたって市内各所で行われた遺跡の調査結果の展示

3.11 東日本大震災三陸大津波写真展

震災発生時から1000時間までの時系列写真展示及び震災後復興に向かうまちや人の様子の写真と資料の展示

- ・気仙大工左官伝承館

3.11 希望の灯り

阪神大地震後2000年、神戸市中央区の公園に全国47都道府県から集められた種火が灯されたガス灯、「1.17 希望の灯り」。大槌町、福島県南相馬市とともに陸前高田市に分灯されたもの。津波に襲われた広田湾を見下ろす位置に立てられている。

気仙大工

陸前高田市小友町に発祥した気仙地方の宮大工・船大工・建具大工等による大工集団。明治初期の気仙地方の民家を想定し、当時の建築様式により気仙杉等の地元材により建築されている。3.11の避難所となり寒さと飢えを凌いだ。

「PC教室」も「竹トンボ教室」も、まっさきの皆さんが地域の行事として継続され定着させて、face bookを通じて世界に発信して、ときには、かつてのITボランティアの仲間たちが集うそんな場所になって行くよう願う次第です。

以上

(参加者による報告書から抜粋)